



21. 朱漆塗合子形兜・黒糸威五枚胴具足・小具足付(黒田孝高・光之所用)



福岡市博物館
Fukuoka City Museum

特別展示解説

新春特別企画

黒田家の刀剣と甲冑展

平成30年1月7日(日)～2月12日(月・祝)

特別展示室 B

はじめに

黒田家は、江戸時代に十二代にわたって筑前国のほぼ全域(福岡県の北西部)を治めた大名です。石高でみれば全国で七番目の規模で、領内の人口は三〇万人あまりを数えました。居城は福岡城で、その城下のすぐ東には、古来、国際貿易港として栄えた博多があり、江戸時代には福岡・博多で計四万人程の人々が暮らしていました。

同家の歴史を語る上で欠かせない人物は、豊臣秀吉の参謀として名を馳せた黒田孝高(官兵衛、如水、一五四六～一六〇四)と、その息子で初代福岡藩主となった長政(一五六八～一六二三)の二人です。播磨国御着(兵庫県姫路市)の小寺家の家来から福岡藩主となった黒田家のサクセスストーリーはこの親子の活躍なくしては語れません。

そこで、黒田長政生誕四五〇年にあたる本年、新春特別企画として「黒田家の刀剣と甲冑展」を開催いたします。黒田家歴代当主愛用の品々には果たしてどのような物語が秘められているのでしょうか。刀剣と甲冑からみた黒田家の歴史をどうぞ堪能ください。

黒田家の刀剣

現在、黒田家伝来品として当館が所蔵している刀剣類は二五口(太刀一、刀九、脇差三、短刀二、鎗七、薙刀三)です。しかし、江戸時代後期の黒田家の刀剣台帳には三〇〇口以上の刀剣が収録されています。これは、当時刀剣が贈答品と

して將軍家、朝廷、大名の間で頻繁に往来があったためです。しかし、明治以降、そうした刀剣の贈答という慣習が無くなってからは、黒田家の刀剣も美術品として売却されたり、旧家臣やゆかりの人々に譲り渡されるなどして、その数を徐々に減らしてしまいました。最後まで黒田家に残った刀剣類は、したがって、売却や震災、戦火といった危機をくぐり抜けて現在まで大切に伝えられてきた品々と言えます。別な言い方をすれば、これらの刀剣は黒田家の歴史を物語る重要な品々であったからこそ、手放されなかつたと評価することもできるでしょう。

今回は、黒田長政がこの鎗で筑前一国を手に入れたことが名前の由来となっている「一國長吉」や、長政の愛刀として江戸時代後期には長政を祀る神社に写しが「御宝器」として奉納されたこともある「二字国俊」など長政ゆかりの刀剣が出品される他、国宝・重要文化財に指定されている二つの「金鯢鮫青漆打刀拵」を比較できるように並べて展示していますので、そっくりなこの二つの拵えをぜひ近くでじっくりとご覧ください。

黒田家の甲冑

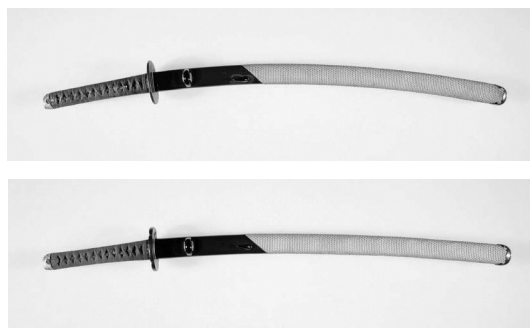
大名家に伝来する道具は大まかに「表道具」と「奥道具」とに分けられます。表道具とは甲冑や刀剣類といった品々で、大名として公式な場面で使われる道具類です。一方、奥道具とは大名のプライベートな場面で使用する道具類で、婚礼調度や能装束、茶道具といった品々がそれに

当たります。黒田家は他の大名と比べて奥道具の残り具合が極端に少ないのですが、表道具の内、甲冑は歴代当主の分がほぼ全て残っており、それがいわゆる「黒田資料」と呼ばれる資料群の大きな特徴となっています。

黒田家の甲冑の特徴は、黒田長政の兜のデザインが後世にも継承されているという点をあげることができます。長政といえば、水牛の角をあしらった桃形兜を身に着けた姿が江戸時代には一般的で、勇ましいその姿が多く絵画に描かれています。今回展示する三代光之(一六二八～一七〇七)の兜も鉢の形は違いますが長政の兜に匹敵する長大な水牛の脇立を備えています。この光之の甲冑はその後の当主が初めて甲冑を身につける「具足初め」の儀式で用いられており、子孫たちが長政の武功にあやかろうとしていたことが分かります。

また、長政が関ヶ原の戦いで身につけたとされるもう一つの兜・一の谷形兜も二代、六代、十一代、十二代と同じデザインのものを作られています。十一代長湊(一八一七～一八八七)と十二代長知(一八三九～一九〇二)は、一の谷形兜だけでなく、水牛脇立兜も作らせています。幕末の難局を長政の力を借りて乗り切ろうとしたのかも知れません。

歴代当主の甲冑がここまで並ぶのは平成十四(二〇〇二)年秋に開催した「黒田家・その歴史と名宝展」以来、十五年ぶりのこととなります。どうかこの機会に歴代当主の甲冑を見比べてください。



藩祖・黒田孝高

(官兵衛、如水 59才)

天文15(1546)年11月29日生
慶長9(1604)年3月20日没

父は黒田職隆

左:21 黒糸威五枚胴具足

中上:14 金霞鯨青漆打刀拵(重要文化財、「安宅切」の拵)

中下:15 金霞鯨青漆打刀拵(国宝、「圧切長谷部」の拵)



上:1 大身鎧 名物「一国長吉」

下:2 刀「二字国俊」

右:22 黒漆塗南蛮鉢歯朶前立兜

左:23 黒漆叩塗帽子形兜

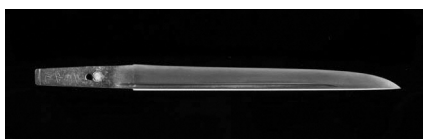


初代・黒田長政

(56才、23年)

永禄11(1568)年12月3日生
元和9(1623)年8月4日没

父は黒田孝高



右:3 短刀 銘「吉光」・金梨子地藤巴紋蒔絵合口拵

中:24 黒漆塗鯨尾形兜・鶉巻紺糸威丸胴具足・小具足付

左:25 銀泥塗一の谷形兜・茶糸威五枚胴具足・小具足付



二代・黒田忠之

(53才、31年)

慶長7(1602)年11月9日生
承応3(1654)年2月12日没

父は黒田長政



三代・黒田光之

(80才、34年)

寛永5(1628)年5月16日生
宝永4(1707)年5月20日没

父は黒田忠之

右:26 鉄錆地六十二間星兜水牛脇立付・黒糸素掛威丸胴具足・小具足付

中:21 朱漆塗合子形兜

左:4 刀「行光」・黒漆塗打刀拵



六代・黒田継高
(73才、50年)
元禄16(1703)年8月11日生
安永4(1775)年6月17日没
父は黒田長清、祖父は光之



28、紺糸威二枚胴具足



五代・黒田宣政
(60才、8年)
貞享2(1685)年5月9日生
延享元(1744)年8月10日没
父は黒田綱政



27、黒糸威丸胴具足



四代・黒田綱政
(53才、23年)
万治2(1659)年8月11日生
正徳元(1711)年6月18日没
父は黒田光之



31、茶糸威二枚胴具足



八代・黒田治高
(29才、6ヶ月)
宝暦4(1754)年5月28日生
天明2(1782)年8月21日没
父は京極高慶



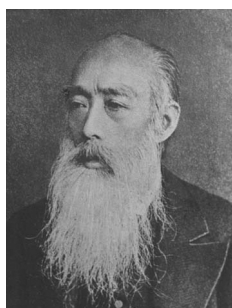
30、萌黄糸威波頭桶側二枚胴具足



七代・黒田治之
(30才、12年)
宝暦2(1752)年12月1日生
天明元(1781)年8月21日没
父は徳川宗尹



29、黒糸威五枚胴具足



十一代・黒田長溥
(77才、35年)
文化8(1811)年3月1日生
明治20(1887)年3月6日没
父は島津重豪



33、紺糸威五枚胴具足



十代・黒田斉清
(57才、39年)
寛政7(1795)年2月6日生
嘉永4(1851)年正月26日没
父は黒田斉隆



32、薄茶糸威二枚胴具足



九代・黒田斉隆
(19才、13年)
安永6(1777)年9月21日生
寛政7(1795)年6月23日没
父は徳川治済



36、紺糸威五枚胴具足



35、紺糸威五枚胴具足



十二代・黒田長知
(65才、4ヶ月)
天保9(1838)年12月19日生
明治35(1902)年1月7日没
父は藤堂高猷



34、紺糸威五枚胴具足

※(一)内は享年と藩主在任期間、年齢は数え年、数字は資料番号、四代以降の甲冑の名称は一部省略した。肖像画・肖像写真は全て福岡市博物館の所蔵品。

展示資料一覧

【黒田家の刀剣】

- 1 大身鎗 名物「一国長吉」／室町時代（十五～十六世紀）／銘「長吉作」、黒田長政所用／一口
- 2 刀 「二字国俊」／鎌倉時代（十三～十四世紀）／伝国俊作、黒田長政所用／一口
- 3 短刀 銘「吉光」、金梨子地藤巴紋蒔絵合口拵／刀身…鎌倉時代（十三～十四世紀）、拵…江戸時代（十七世紀）／刀身…吉光作、拵…不詳、黒田忠之が徳川家康から拝領／一口
- 4 刀 「行光」、黒漆塗打刀拵／刀身…鎌倉時代（十三～十四世紀）、拵…江戸時代（十七～十八世紀）／刀身…伝行光作、拵…不詳、黒田光之が徳川家光から拝領／一口
- 5 刀 「吉岡一文字」、黒漆塗青貝入打刀拵／刀身…鎌倉時代（十三～十四世紀）、拵…室町時代／江戸時代（十六～十九世紀）／拵…不詳、黒田長清が黒田光之から拝領／一口
- 6 脇差 銘「康光」、黒漆塗青貝入脇差拵／刀身…室町時代（十四～十五世紀）、拵…室町時代／江戸時代（十六～十九世紀）／刀身…康光作、拵…不詳、黒田継高が黒田光之から拝領／一口
- 7 黒田家譜／宝永元（一七〇四）年成立／貝原篤信他編／十五冊の内
- 8 金銀道具之帳控／元和九（一六三三）年／黒田長政より黒田忠之あて／一冊
- 9 日光一文字拵注文／元和九（一六三三）

- 年／黒田忠之より埋忠明寿あて／一通
- 10 黒田家重宝故実／江戸時代（十七～十八世紀）成立／作者不詳／一冊
- 11 御譲御道具目録／宝永三（一七〇六）年十二月／黒田光之より黒田綱政あて／一通
- 12 御目貴之次第／宝永四（一七〇七）年以前／黒田光之／一通
- 13 黒田家刀剣目録／江戸時代後期（十九世紀）／作者不詳／七冊の内
- 14 金靨鮫青漆打刀拵（重要文化財）（刀名物「安宅切」の拵）／桃山～江戸時代（十六～十七世紀）／埋忠明寿作力／一口
- 15 金靨鮫青漆打刀拵（国宝）（刀名物「庄切長谷部」の拵）／江戸時代（十九世紀）／一乗斎毛利光則作力／一口
- 16 高彫色絵張果老図木瓜形鉄鐔（重要美術品）／桃山時代（十六世紀）／金家作／一枚
- 17 八景図鉄鐔／江戸時代（十七世紀）信家作／一枚
- 18 赤銅製龍図大小鐔／江戸時代（十九世紀）／後藤一乗作／二枚
- 19 金無垢牡丹唐獅子図三所物／江戸時代（十八～十九世紀）／後藤光守作／一組
- 20 赤銅製魚々子地馬具図小柄および筭／室町時代／江戸時代（十五～十七世紀）／小刀…政常作、小柄…筭…後藤宗乗作／一組

【黒田家の甲冑】

- 21 朱塗合子形兜・黒糸威五枚胴具足・小具足付／兜…貞享五（一六八八）年、

- 胴…桃山時代（十六世紀）／兜…春田次兵衛・岩井勘之丞ほか作、黒田如水・黒田光之所用／一領
- 22 黒漆塗南蛮鉢齒前立兜／桃山時代（十六世紀）／黒田長政が徳川家康から拝領／一頭
- 23 黒漆叩塗帽子形兜／江戸時代（十七世紀）／黒田長政所用／一頭
- 24 黒漆塗鯰尾形兜・鶺鴒巻紺糸威丸胴具足・小具足付／江戸時代（十七世紀）／黒田忠之所用／一領
- 25 銀泥塗一の谷形兜・茶糸威五枚胴具足・小具足付／江戸時代（十七世紀）／黒田忠之所用／一領
- 26 鉄錆地六十二間星兜水牛脇立付・黒糸素掛威丸胴具足・小具足付／江戸時代（十七世紀）／黒田光之ほか所用／一領
- 27 鉄錆地三十八間星兜藤巴後立付・黒糸威丸胴具足・小具足付／江戸時代（十七世紀）／黒田綱政所用／一領
- 28 鉄錆地六十二間筋兜・紺糸威二枚胴具足・小具足付／江戸時代（十八世紀）／黒田宣政所用／一領
- 29 銀箔押一の谷形兜・紺糸威五枚胴具足・小具足付／江戸時代（十八世紀）／黒田継高所用／一領
- 30 黒漆塗十六間筋兜・萌黄糸威波頭桶側二枚胴具足・小具足付／江戸時代（十八世紀）／黒田治之所用／一領
- 31 鉄錆地五十四間筋兜齒前立付・茶糸威二枚胴具足・小具足付／江戸時代（十八世紀）／黒田長清・黒田治高所用／一領
- 32 黒漆塗三十二間筋兜藤巴前立付・薄

- 茶糸威二枚胴具足・小具足付／江戸時代（十八世紀）／黒田斉隆所用／一領
- 33 黒漆塗三十二間筋兜・紺糸威五枚胴具足・小具足付／江戸時代（十九世紀）／黒田斉清所用／一領
- 34 銀泥塗一の谷形兜・黒糸威五枚胴具足・小具足付／江戸時代（十九世紀）／黒田長清所用／一領
- 35 銀泥塗一の谷形兜・紺糸威五枚胴具足・小具足付／江戸時代（十九世紀）／黒田長知所用／一領
- 36 黒漆塗桃形水牛脇立兜・紺糸威五枚胴具足・小具足付／江戸時代（十九世紀）／黒田長知所用／一領
- 37 銀大中割大盛旗脇立頭形兜／桃山時代（十六世紀）／黒田一成所用／一頭
- 38 鉄錆地置手拭形大小頭立兜・紺糸威五枚胴具足・小具足付／桃山時代（十六世紀）／黒田一成所用／一領
- 39 黒漆塗頭形鬘斗前立兜・紺糸威二枚胴具足・小具足付／江戸時代（十七世紀）／黒田一任所用／一領
- 40 朱漆塗頭形割半月脇立兜・紺糸威二枚胴具足・小具足付／桃山～江戸時代（十六～十七世紀）／野口一成所用／一領

※全て館蔵。1～36は黒田資料、37～39は三奈木黒田家資料、40は購入資料です。

福岡市博物館

〒八四一〇〇〇一

福岡市早良区百道浜三丁目一番一

☎〇九二一八四五五〇一一